



第 473 号 平成 29 年 12 月 1 日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町 601-1 こどもみらい館 2 階

T E L (075) 256-0351

F A X (075) 241-3568

発行人 林 鐘 声

第48回全国学校保健・学校医大会

会 長 林 鐘 声

11月18日（土）、津市の三重県総合文化センターにて開催され、大会出席登録者548人のうち、京都府からは学校医会の6人を含めて10人が参加しました。

朝は5分科会で演題発表が行なわれ、第2分科会では私、第4分科会（耳鼻咽喉科）では兵庫美砂子先生が発表しました。昼の開会式・表彰式で次期開催は平成30年10月27日（土）鹿児島県が行うと発表されました。今まで秋田県、北海道が2回主催していたことから、第49回をもって全都道府県を一巡したことになります。

その後に行なわれた、シンポジウム、特別講演については改めて報告を致しますが、今月は各分科会の演題を掲載します。その抄録、発表スライドは、ホームページ、

<http://www.mie.med.or.jp/school-48/>に公開され、ID：school48、パスワード：mie で閲覧できます。

第2分科会（からだ・こころ（2））について簡単に触れておきます。

- 1 百日咳地域流行と学校での感染対策～情報の共有と共感について 秋田県医師会 野口 博生
- 2 安佐コホート・スタディにおける3地区小学校児童と同一学校出身の成人群のムンプス抗体価の比較および成人群の抗体価の経年的推移の検討 広島県医師会 杉野 禮俊
- 3 学校医は楽しんで学校へ行こう！～「健康教育」を通して子ども達に迫る～ 島根県医師会 田草 雄一
- 4 和歌山県御坊・日高地方における学校医喫煙防止出前授業と成人式での喫煙状況アンケート調査 和歌山県医師会 中井 寛明
- 5 平成28年度運動器検診の結果と整形外科専門医

による運動器検診の状況について

埼玉県医師会 柴田 輝明

- 6 運動器検診から見える健康課題

京都府医師会 林 鐘声

- 7 平成28年度東海市の運動器検診における専門医受診抽出方法について

愛知県医師会 稲坂 博

- 8 豊島区立小中学校における過去7年間の骨密度測定結果から 東京都医師会 猪狩 和子

- 9 徳島市の小中学校における側弯症検診の実態調査 徳島県医師会 高田 洋一郎

- 10 運動器検診の継続への試み（広島方式）

広島県医師会 泉 恭博

- 1：中心となる医師のもと、学校、病院、医師会が連携して、百日咳の流行を沈静化させた報告です。秋田県は数年前にも、麻疹流行に対処した報告を行っており、小回りの利く学校保健体制がとれているようです。

- 2：ムンプスの罹患率は約30%前後、しかも抗体価の低い児童生徒が多く、定期接種化の必要性を示す報告でした。

- 3・4：健康教育のやりがいとその効果の検討を通して、各々ができる健康教育を「やってみなはれ」といっているようでした。

- 5・6・7：運動器検診を行う側の課題を検討したのが5・7、それに対して6は検診結果の分析から児童生徒に見えてきた問題点を指摘したものでした。

- 8：最大骨量を獲得する思春期に、骨量を減らすダイエット、運動不足は「もっての外」ということと理解しました。

9：脊柱検査の前屈テストの実施率は運動器検診導入でも変わらず75%前後、上半身裸も徹底できていないことを養護教諭へのアンケートから明らかとじていましたが、全国の平均像はどのようなのでしょうか。

10：前屈テストで前屈制限をチェックすることで脊後湾症の検出に取り組んできた広島市医師会の報告は、前屈制限の意義の見直しを求めているようでした。

第48回全国学校保健・学校医大会 第1分科会報告〔からだ・こころ（1）〕

福西小学校医 奥村正治

この分科会は、演題10題でした。その中で、成長曲線の関係が2題、生活習慣病の関係が4題、学校健診の関係が4題でした。

成長曲線の部では、奈良県医師会からの発表でしたが、日本学校保健会から発行されている「子供の健康管理プログラム」というソフトCDからは、入力の問題や異常の発見に長時間がかかる為、独自で開発されたソフトですが、学籍簿と個人ID番号化する事により、短時間で異常者検出が可能になり、転校等による問題も解決される様であり、本年12月を目処にホームページに公開をしていただく様です。コンピューター等を詳しくご存知の先生には楽しみに待っていただきたいと思います。

又、2題目の名古屋の先生からは、29%の学校医の先生が、「28年度から座高の測定を廃止し、成長曲線および肥満度曲線をチェックする」をご存知でなかったという発表もありました。我々京都ではどうでしたでしょうか？

生活習慣病の演題では、どこの府県でもと思われるが、採血の問題と費用の問題との解決が、これからの課題と思われます。多くは肥満度を用いて生活習慣病検診とされており、スクリーニングとして肥満度は良いとしても、その後の指導がどうか？とい

う事が課題でしょう。中には、何人かを抽出して、医師会や教育委員会が費用を出して、採血等を行なっている様な状態でした。

学校健診の部では、私の医師会では、このような健診をしていますという話題で、①東洋医学も勉強された先生でしょう。舌診を学校健診に取り入れられ何年かなさった様ですが、運動器検診が入り、中止された様です。食事内容の変化により、舌診でも子供達の変化がみられ、食育の大切さを強調された。②3才の時の眼科検査法を変えよう。という話題です。弱視予防の為、STじゃんけんカードの使用のお奨めでしたが、学校医の中に幼稚園園医は数少ないと思われ、この話題は小児を取りまく色々な会地道に講演をしていただきたいと思います。③モデル事業のピロリ菌検診と除菌治療の臨床研究で、中学2年200名を公募して行なわれた様です。胃がんの根絶、次世代へのピロリ菌の伝播を予防するという視点で、10才前年中2年生に除菌治療は望ましいと、次年度は地域を広げて行なわれる様です。④三重県の学校腎臓検診の話題でしたが、どこの地域も同様と思われますが、検尿異常者の精検受診の向上が課題です。

第47回全国学校保健・学校医大会 第3分科会報告 こころ・心臓健診（29年11月18日）

西京高等学校医 杉本英造

1. 発達障害を抱えた子どもたちと学校への介入
埼玉県医師会
発達障害の子への配慮：板書が苦手ならスマホ・タブレット使用、集中できず混乱しそうなら録音

する、偏食も含め食べられない給食は無理しない、緊張負担が強くなったら適度に休む、聴覚過敏にはイヤーマフやヘッドフォン使用、視覚過敏にはサングラス使用、読字障害には特殊ルーベ使用。

周囲の発達障害に対する理解が必要。

2. 学校メンタルヘルスに対する基本姿勢の立て方

三重県医師会

学校をクリニック化しないこと、児童生徒全員にメリットがあること（リスクの高い児童中心にならない）、教師が外面からでなく内面状態から言動を理解することにより効果がでてきた。なにより大切なことは、継続していくこと。

3. 離島・過疎地における児童精神科領域の医療－教育連携と災害時の子供のこころのケア：東京都大島町における学校精神保健の取組

東京都医師会

離島には専門医はいないので、教員の対応力向上（研修・事例検討）と校内外連携体制（巡回相談）の構築が重要で、災害時のケアにも役立つ。

4. 三重病院における三重県内新規採用養護教諭研修のまとめ

三重県医師会

養護教諭への心身症研修は、学校での子供の理解・対応に医療的アプローチの有効性を知るよい機会となり、学校と医療の連携に役立つ。

5. 学童期の排便障がい由来する自己臭症の予防と治療

熊本県医師会

肛門のしまりがやや悪く、便が漏れるほどではないがガスが漏れるほどに弱くなっている人にリハビリテーションに加え認知行動療法を加えると有効。

6. 都立学校心臓健診での2年生以上の経過観察検診対象者に対する判定

東京都医師会

心臓健診での不整脈や心疾患に対する管理指導区分「E可」判定した群への経過観察。

7. 愛知県の学校心臓健診における精度管理の取り組み

愛知県医師会

ECGの検診機関と健診委員会との不一致、読み落としは不完全右脚ブロックとRSr'パターンが多く、読みすぎはQT延長が多かった。

8. 学校心臓健診で発見される心疾患や不整脈についての検討

愛知県医師会

20年間に小1：2565 / 38万2565（0.67%）、中1：2194 / 36万（0.62%）に先天性心疾患がみられ、心房中隔欠損症が半数を占めほとんどが軽症であった。

9. 超音波検査を用いた心臓2次検診－25年間のまとめ－

20年間で不完全右脚ブロックを呈した3071例中62例（2%）にエコーで心房中隔欠損症診断。心エコーの有用性について。

10. 児童生徒の心臓突然死対策：学校心臓健診と学校救急の両輪で

三重県医師会

AED使用した病因として、冠動脈奇形、QT延長、カテコラミン感受性多形性心室頻拍。

第47回全国学校保健・学校医大会

第4分科会報告

耳鼻咽喉科専門医会理事 鈴木由一

「京都市における小中学校聴覚特別支援学級聴覚検診についての報告」の演題で発表いただきました。

なお、それぞれの演題および抄録集はホームページに公開されていますのでご参照下さい。

<http://www.mie.med.or.jp/school-48/>

ID：school48

パスワード：mie

平成29年11月18日（土）三重県総合文化センターにて第48回全国学校保健・学校医大会が開催された。第4分科会【耳鼻咽喉科】に出席してきたのでその報告をします。座長は三重県耳鼻咽喉科医会 莊司邦夫会長、日本耳鼻咽喉科学会三重県地方部会竹内万彦会長の司会により講演が進められた。

本分科会の演題は全部で12題であった。第3席で京都府立医科大学耳鼻咽喉科の兵庫美砂子先生に

第48回全国学校保健・学校医大会 特別講演報告

東山泉小中学校医 長 村 吉 朗

三重県津市で開催されました第48回全国学校保健・学校医大会での特別講演の概要を報告いたします。

特別講演の講師は皇學館大学学長の清水潔氏による「伊勢神宮と精神文化」であり、当然内容は堅く難しいもので私の手に負えるものではありませんでした。報告のため、意識をなくすこと無く全てを拝聴致しましたが、理解できたところのみかいつまんで報告致します。抄録を読み返してもよく分かりませんので、必要な方は校医会まで抄録のコピーを請求下さい。

話の内容は伊勢神宮の成り立ちとその現況、及び式年遷宮（第62回）の必要性及びその概要でした。日本と大和王朝の成り立ちを神代の時代から始め、伊勢神宮の創建へと話は進みます。伊勢神宮の外観の説明と、皇大神宮（内宮）と豊受大神宮（外宮）の意味を述べられました。講師のよく通る声とその

調べに、あつという間の1時間でした。

神道と仏教の関係に関しては（以下私の理解が間違っていればお詫び致します）、神道は個人の救済では無く国家や集団の守護と平安の祈りと感謝であり、仏教は個人の魂の救済であると説明されました。私個人としまして、朝日を見れば頭を垂れ、夕日を見れば手を合わす、そして山や大木を見ても手を合わすことが人間として自然であると感じており、自ら信じる神のため他の神を信じる邪教徒を殺しても良い、そして死んでも天国で何十人の処女が待っているなどと言う教えには納得がいきません。たった一人の妻さえ持て余して居るのに、そんなに多くをどうするの等と考えている罰当たりな私に理解できたことは、そんな私の救済は仏様に祈るのだと言うことだけでした。

第7回 常任理事会

平成28年12月3日 於 事務局

出席者 林会長、井本副会長、杉本専務理事、東道・大久保・山内・川勝・中嶋各常任理事、佐野眼科学校医会副会長、鈴木耳鼻咽喉科専門医会理事、奥村議長、長村監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 精神衛生研究会 11/9
2. 京都市学校保健会 学校保健関係者表彰式・研究発表会、表彰祝賀会 出席者について 11/11
表彰式・研究発表会 14:00~16:30
於：ウイングス京都
表彰祝賀会 17:30~ 於：リーガロイヤル
ホテル京都
3. 色覚相談 11/14
4. 全国学校保健・学校医大会 11/18
於：三重県津市
5. 臨時結核健診について 対象者54名
6. その他

<協議事項>

1. 第32回 京都市小学校「大文字駅伝」大会
出務医について
2. 新年会について 1/13 於：京料理ちもと
3. 平成30年度京都市学校医会総会 講師について
4. その他

<関連学会・各種協議>

1. 京都市小学校「大文字駅伝」大会 事前検診
12/9, 12/16
2. 臨時結核検診におけるツベルクリン反応検査
12/13・15（林先生）
於：京都市教育委員会 体育健康教育室
12/19・21（大久保先生）
於：京都市総合教育センター
3. 精神衛生研究会 12/14
4. 京都府歯科医師会 新年互礼会 1/10
於：京都府歯科医師会口腔保健センター
5. 第8回常任理事会兼新年会 1/13
於：ちもと 17:00~理事会, 18:00~新年会
6. その他